

平成30年8月5日

沖縄県議会議長  
新里 米吉 殿

座間味浄水場建設予定地の変更を求める会  
会長 中村 毅  
(一般社団法人 座間味ダイビング協会サンゴ保全委員長)  
沖縄県島尻郡座間味村字座間味 434-2  
電話：098-987-2445



## 座間味島の最重要観光地内に計画されている浄水場建設予定地の 変更を求める陳情

沖縄県企業局が行う沖縄本島周辺離島に対する水道広域化事業の一環で進められている座間味島浄水場建設に際し、その建設候補地の選定方法や事業の進め方について、以下に記述する疑問があります。

- ① 住民に知らされないまま候補地が1つに絞られ、『阿真キャンプ場』ありきで説明し、事業を強行しようとしている。住民が建設地の見直しを求めて、協力して探し出した代替案に対しても、十分な検討をしないまま、押し進めようとしている。
- ② 県企業局が「適地」と説明する『阿真キャンプ場』は、海水浴場の阿真ビーチに隣接し、ウミガメと会え、沖には豊かなサンゴ礁が広がり、『世界が恋する海』として村内の多くの観光業者が利用する最重要観光地である。県内54カ所の浄水場で、海水浴場に隣接した場所ではなく、「適地」どころか、「例外的」な場所と言える。本村の観光産業の礎となった『青少年旅行村』の解放的なレクリエーションの場であるキャンプ場内の多目的広場に、用途の違う浄水場ができるのは、観光業にとって大きな損失である。かけがえのない自然と島人の心を壊し、長年、『青少年旅行村』として村と賃貸契約をしてきた地権者の中には、契約更新せず、違法な工事が行われる事態も起こり、乱開発の引き金になることが危惧される。
- ③ 県企業局が当初、最適地と判断していた『座間味港テニスコート』は、老朽化して使われていない場所であるにもかかわらず、県港湾課から「一般開放することができない浄水場等の建設は、緑地機能を消失するため認められない」との理由で不可になったとのことだが、『青少年旅行村』のキャンプ場として一般開放されている敷地の中に、忽然と誰も立ち入れない浄水場ができることの方が、住民や観光客にとって、よほど不利益を被る。島を『心の故郷』として毎年通ってくれる多くの常連客からも心配の声が上がり、たくさんの署名や思いの込められたメッセージが寄せられている(8月4日21時時点で計2,347名)。

よって、次の事項について陳情いたします。

### 記

#### 1. 座間味浄水場建設予定地の変更【詳細資料を別紙で添付】

代替案として、以下を提案します。

- a. **テニスコート緑化案**：浄水場の屋上を緑化し、港が一望できる展望所や休憩所などにすれば、一般開放できる緑地機能を消失せずに、浄水場を建設できる。
- b. **ダム下流域の代替案**：浄水場の立地としては最適と思われるダムと集落の間の地権者と話を進め、浄水場建設に必要な面積の地権者から前向きな回答を得た。
- c. **ヘリポート移転案**：現浄水場に隣接するヘリポートを移転し、現ヘリポートの用地まで現浄水場を拡張し、新浄水場として必要な設備を建設する。

高月山の浄水場

『ヘリポート』

座間味ダム

座間味村平和之塔

レストランまるみ屋

座間味村立座間味中

● 第1井戸

座間味村役場

シラハマアイ  
ランスリゾート

ざまみレンタカー

座間味

なぎさ

座間味港

ダムから500m/川まで150m  
住民有志が探した  
『ダム下流域』候補地

座間味郵便局

浄化センター

『テニスコート場』

海水淡水化施設

大川良堰

● 第2井戸

青少年旅行村

ダムから2400m/座間味港から1600m  
『阿真キャンプ場』候補地

違法な開発工事が行われた  
劇場型広場

交流センター

多目的広場

キャンプサイト

阿真ビーチ

遊泳区域

ガイド引率による  
スノーケリングエリア

マリリンの像

ダイビングポイント

阿真ビーチに来るウミガメの行動範囲

Google

## 資料

### 『座間味島の最重要観光地内に計画されている浄水場建設予定地の変更を求める陳情』に関する資料

座間味島は、山地は多いもののリアス式に入り組み、やせ細った形状の島であり、雨水を地下水として保水する機能に乏しく、毎年のように水不足に悩まされてきました。さらに、2014年には国立公園に指定され、世界各国からも観光客が訪れるようになり、観光業は好調な一方で、水の使用量も急激に多くなっておりましたので、この水道広域化事業は、村民挙げて歓迎し、その事業効果に期待するものです。

しかし、本事業による浄水場建設予定地である阿真キャンプ場周辺は、50年前に『青少年旅行村』に指定されて以来、今日の観光産業の礎となったところで、本来なら観光資源としてその自然と景観を保全すべき場所であり、浄水場建設などインフラ開発は相応しいとは言えません。ケラマブルーと世界から賞されるサンゴ礁の海と、ウミガメに会える白砂の阿真ビーチが目の前に広がり、島で最も多くの業者が利用する区域で、島の最重要観光地です。周りを取り囲む緑の木々や広々とした草原も、癒しと解放感を与えると人気で、1万8千坪もの広大な土地が公共の空間として開放され、敷地内にはキャンプ場やコテージ、多目的広場や劇場型広場、子どもたちが合宿をする体験交流センター、全国から集まるサバニレース参加者のサバニやヨット、カヤックなどを保管する艇庫など、誰もが利用できる観光施設しか建っていない自然豊かな場所です。この自然と人が共生する空間が、多くの観光客を惹きつけ、『心の故郷』として毎年通ってくれるのです。常連客は「ただいま」と言って島に来られます。そんな観光客に支えられ、私たちの生活は成り立っています。

その自然の恩恵によって生かされている認識から、私たちは、自然環境を保全し、サンゴ保全活動やビーチクリーン活動、また、自然界の動植物へのストレスを極力減らすエコツーリズムの推奨を続けてまいりました（参考資料『阿真ビーチ自然観察ガイド』）。また、青少年旅行村に土地を持つ地権者も長年に渡る村との賃貸契約を続け、今は島外に住む人であっても、島で乱開発などが起こらないよう、簡単には土地を売らないようにするなど、生まれ島を大切にしてきました。それによって保持された自然景観や村民の努力が、『慶良間諸島国立公園』指定の評価を得たと自負しております。

しかしながら、阿真キャンプ場での浄水場建設計画が地元区長など住民の耳に入り、建設予定地の地権者が2千2百坪もの広大な土地を県に売るという内容が伝わると、青少年旅行村内に土地を持つ地権者の一部が、村との賃貸契約を今年3月で打ち切り、島外の民間業者と契約し、その結果、海岸の保安林を伐採するなど違法な開発工事が行われる事態も起きてしまいました。このままでは、長年、青少年旅行村として守られてきた島の宝が失われてしまいます。住民だけでなく多くの観光客からも心配の声が上がり、たくさんの署名やメッセージが寄せられています。また、県企業局に意見を送ったという観光客も多いです。

また、2回目の説明会では、住民が一番に心配していた排水による海への影響に配慮して、排水先を座間味港まで持っていく対応策案が説明されましたが、現行の高月山浄水場ができた当初、座間味集落側のヒジャーヌクシの谷に排水されていたものが、いつのまにか住民の知らないうちに、反対側の麓の阿護の浦へ向かって排水されるようになっていました。そのような前例もあるため、本当に自然環境が守られるのか信用できません。

どうか、島の宝、沖縄の宝を守ってくださいますよう、お願い申し上げます。

【座間味浄水場建設計画に関する時系列】

年月日	できごと
平成 29 年 4 月～	浄水場候補地の選定。その後、6カ所（港湾テニスコート、古座間味旧ゴミ捨て場、阿真チジ、阿真キャンプ場等）に絞られたらしい。
7 月 28 日	県港湾課から『テニスコート場』は不可との回答がきたらしい。
12 月頃	『阿真キャンプ場』の建設候補地の地権者と覚書を交わしたらしい。
12 月 25 日	県企業局が『阿真地区における調査設計業務委託』の入札を公告。
平成 30 年 3 月 14 日	県企業局と村産業振興課が、阿真区長に浄水場建設候補地の説明。区長から公式に区民への説明はなし。
4 月 4 日	阿真区内で測量始まる。翌 5 日には、阿真キャンプ場の多目的広場（建設予定地）が重機で整地され、測量される。区民が作業員に尋ね「海水淡水化施設建設のため」と聞き、区長に区民への説明を求めが、「県の事業だから必要ない」と区での説明会は開催されず。
4 月 10 日	複数の区民から再三の説明要求を受け、区長が「事業への協力要請と、資料は公民館で閲覧可」のお知らせを区民に配布。
4 月 11 日	阿真区公民館で資料を開示（～4 月 18 日まで）。
6 月 12 日	座間味区の掲示板に『浄水場住民説明会（6 月 18 日開催）』のお知らせが貼り出される。阿真区は 6 月 15 日から掲示。この時点で、議員も各団体の長も村民のほとんどが、浄水場建設について何も知らず。
6 月 18 日	1 回目の『浄水場住民説明会』開催。すでに『阿真キャンプ場』で計画が進められていることに参加者驚く。「事業は賛成だが、場所だけは見直してほしい」との声が次々と上がり、住民も協力して新たな候補地を探すことに。企業局側も「みなさんの思いを知ることができて良かった。強行はしない。住民の意見を聞きながら進める。」と話す。
6 月 19 日	住民有志で、浄水場建設の代替地を探し始める。手分けして、ダム下流域の土地探しと地権者との交渉。
6 月 29 日	2 回目の『浄水場住民説明会（7 月 19 日開催）』のお知らせが掲示板に貼り出される。『阿真地内に浄水場の建設を予定』との文字に、住民から「話が違う！阿真ありきで進めるのでは？」と不信感が高まる。
7 月 17 日	住民有志で探した浄水場建設予定地の代替案を県企業局に提出。しかし、『阿真キャンプ場』案を進める姿勢崩さず。
7 月 19 日	2 回目の『浄水場住民説明会』予定日。台風の影響で延期。琉球新報に記事掲載。翌 20 日には沖縄タイムスに記事掲載。説明会呼びかけ資料や新聞記事を見て問題視した住民や観光客が、ブログや SNS などでの情報共有や情報発信、署名活動が活発化する。
8 月 1 日	2 回目の『浄水場住民説明会』開催。改めて代替案の提案も行ったが、企業局は『阿真キャンプ場』を進める姿勢を崩さず、住民側は見直しを求め、3 時間以上に渡って議論したが、企業局の強行する発言に、会は紛糾した。説明会終了後、住民がその場に留まって話し合いを行い、『座間味浄水場建設予定地の変更を求める会』を発足。県知事や県議会へ陳情を行うことを決める。

## 代替案

### 【a.テニスコート緑化案】

当初、浄水場建設の最適地と判断されていた『座間味港テニスコート』案は、県港湾課から「一般開放することができない浄水場等の建設は、緑地機能を消失するため認められない」との回答で、候補地から外れました。しかし、屋上緑化の休憩所など一般公開できる緑化を施し、緑地機能の消失を最小限に抑える形で浄水場建設計画を立て、県港湾課からの許可をもらうことはできないでしょうか。土地造成・管路整備費が、『阿真キャンプ場』案は約 5.5 億円とのことですが、『座間味港テニスコート』案は約 3.8 億円とのことなので、1.7 億円もの予算的なゆとりがあります。この予算を使って、港に調和した開放的で斬新な浄水場を建設することは、座間味村のためだけでなく、県企業局にとっても、新しい一歩となるのではないのでしょうか。すでに県内では、石川浄水場の浄水池などの上部が多目的グラウンドなどに整備され、開放されています（参考図『石川浄水場施設の一般開放』沖縄県企業局 HP より）。座間味に建設予定の浄水場はもっと小さなものですが、屋上を展望所にして一般開放し、港を眺めながら休憩したり、浄水場を見下ろしながら、浄水のしくみを学べる案内板を立てるなど、アイデアはいろいろありそうです。

### 【b.ダム下流域の代替案】

「自然や景観、島の伝統に配慮した、よりよい浄水場建設をめざして、新たな候補地を探そう」と住民有志で協力して代替地を探しました。座間味ダム下流域は、もともと田畑が広がっていた場所で、今は、ほとんど使われていません。みんなで手分けして地権者をたどり、話を進め、「協力する」と前向きな回答をくださった 6 地権者の土地（3509 m<sup>2</sup>）と村有地の二筆（604 m<sup>2</sup>）合わせて、4113 m<sup>2</sup>を見つけました。建設のために必要な面積 3060 m<sup>2</sup>をクリアしています。浄水場として理想的な場所で、なおかつ観光に影響はほとんどなく、また、排水も近くの川の中流から座間味港へと流れ出る間に薄まるので、港より外にあるダイビングポイントには、ほぼ影響はないと考えられます。さらに近くには、水の神様「ナガマシの宮」が鎮座し、立地的にも自然環境的にも島伝統の信仰的にも最適な場所です（参考図『ダム下流域案』）。この場所の提案を要望書にし、7月17日に県企業局に提出しました。しかし、8月1日の説明会の席上で、「（幅 3m の農道にしか繋がっておらず、）消防法の定める幅 4m の接道がない」と問題点を指摘されましたので、現在、農道沿いの地権者と話を進め、農道を道として整備できるよう働きかけています。

### 【c.ヘリポート移転案】

現浄水場に隣接しているヘリポートは、曲がりくねった坂道を登った先にあり、急患者を運ぶのが大変なことから、実際の緊急時には、座間味港内の空き地や古座間味の休耕地にヘリコプターが着地することも多く、ヘリポートとして適地ではない現状があります。そこで、ヘリポートをもっと適した場所に移転し、現ヘリポートの用地を新浄水場の用地に変更することで、現浄水場の施設も生かしながら、新浄水場へと更新できないでしょうか。ヘリポートの候補地としては、浄水場候補地にもなっていたクリーンセンター背後の小高い丘の上（座間味 1214）を考えています。村有地でなおかつ平坦であり、近年整備された立派な道路である村道座間味-阿佐線を通って行けるため、安全に急患者を運ぶのにも適しています。

## 石川浄水場施設の一部開放

うるま市石川東恩納崎の石川浄水場が完成し、平成27年10月29日から施設の一部を開放しています。

開放施設は、原水調整池上部の「①多目的広場」、浄水池上部の「②多目的グラウンド」、外周の「③遊歩道」で、多くの方々が広く利用いただけます。



## 石川浄水場完成・多目的広場等開放

# 【ダム下流域案】

座間味ダム

沖縄県座間味ダム管理所

座間味村平和之塔

座間味村立  
座間味中学校

座間味集落

内川

もと田畑だった約7500坪の平地。30年前に行われたダム工事以降、使われなくなった。島の貴重な平地なので、有効活用したい。

水の神様  
『サガマシ宮』

住民が深した  
『浄水場』  
の新しい  
候補地

浄化センター

宿ナトウーラ

民宿浜園

ペンション高月

JOYJOY

ピーチコマー

レストランまるかほ

真次郎

座間味郵便局

中継リポート